

事前評価個表

整理番号	25
------	----

地域（地区）名	しらかわ きくちがわ 白川・菊池川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	熊本県	対象市町村	くまもとし 熊本市ほか 18 市町村
事業実施期間	R2 年度 ～ R6 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、熊本県の北部から東北部に位置する熊本市、玉名地域、鹿本地区、菊池地域及び阿蘇地域の 5 地域を包括する地域で、北は福岡県、東は大分県及び宮崎県に接している。</p> <p>本地区の総面積 266 千 ha のうち、森林面積は 126 千 ha（森林率 43%）となっている。このうち、民有林の面積は 115 千 ha（森林全体の 91%）で、スギが 43%、ヒノキが 13%を占めており、スギ、ヒノキともにⅫ齢級をピークとする齢級構成となっている。Ⅴ～Ⅻ齢級が 62%と利用期を迎えており、今後、更に伐採量の増加が見込まれる。</p> <p>本地区内の民有林人工林の構成割合は、適正な保育・間伐を必要とするⅢ～Ⅶ齢級が 65%を占める一方、高齢化や後継者不足により森林所有者の森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞り、森林の有する水源涵養機能や土砂流出防止機能等の公益的機能の発揮に支障をきたすおそれが懸念される。</p> <p>また、本地区には県指定希少野生動植物（トダスゲ、トキワマンサク、オオルリシジミなど）の保護区が 8 か所存在し、森林整備による生息環境の保全が重要な地区でもある。</p> <p>このため、施業の集約化や低コスト化による森林整備の推進及び森林資源の循環利用により、担い手の確保や森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、白川・菊池川地区森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき適正な森林整備を実施していく。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備： 7,470 ha</p> <p>人工造林、下刈り、除伐、枝打ち、間伐等</p> <p>総事業費： 2,806,096 千円（税抜き：2,550,997 千円）</p>
費用便益分析結果	<p><math>B/C = 5.72</math></p> <p>（総便益（B）=26,951,725 千円、総費用（C）=4,712,776 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養や土砂流出防止等の森林の有する公益的機能の持続的発揮するため、また森林整備の推進による希少野生動植物の生息環境の保全が、求められている地区であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備により、施業地の集約化や低コスト化が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：施業の集約化や低コスト化により適正な森林整備及び森林資源の有効活用を進め、森林の有する多面的機能の維持・増進が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

整理番号

25

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名： 森林環境保全整備事業

都道府県名： 熊本県

地域(地区)名： しらかわ きくちがわ 白川・菊池川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	7,409,102	
	流域貯水便益	1,929,237	
	水質浄化便益	6,707,890	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,789,917	
環境保全便益	炭素固定便益	3,871,901	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,243,678	
総 便 益 (B)		26,951,725	
総 費 用 (C)		4,712,776	
費用便益比	$B \div C = \frac{26,951,725}{4,712,776} = 5.72$		

# 森林環境保全整備事業 白川・菊池川地域(熊本県)

